

IX 爽やかな「都」をつくる

～奈良が持つ行政資源を総動員し、効率的・効果的な行財政マネジメントを行い、行き届いた行政サービスを届ける～

26 奈良モデルの実行

- (125)市町村と連携したまちづくりの推進
- (126)JR新駅周辺のまちづくり
- (127)近鉄郡山駅周辺のまちづくり
- (128)県立医科大学周辺のまちづくり
- (129)大和平野中央プロジェクトの推進
- (130)王寺駅周辺のまちづくり
- (131)奈良県総合医療センター跡地のまちづくり
- (132)県域水道ファシリティ・マネジメント
- (133)ごみ処理広域化奈良モデル
- (134)市町村財政健全化・財政支援の検討

27 行政マネジメント

- (135)県庁版働き方改革の実行
- (136)県有資産のファシリティマネジメント
(維持、管理、活用)
- (137)地域デジタル化の推進

28 財政マネジメント

- (138)県財政中長期運用方針と県債の管理
- (139)税徴収率向上と適正課税推進

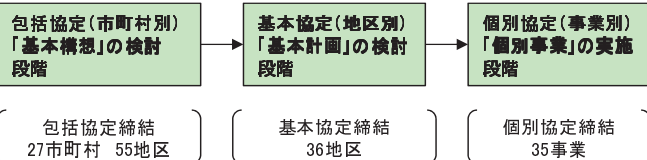
26 奈良モデルの実行

(125) 市町村と連携したまちづくりの推進

これまでは

県と市町村との連携まちづくりは3段階で行います。

【R3.1.1時点】



県が財政支援をします。

- ・ハード事業:市町村の公債費のうち、地方交付税算入額を差し引いた額の1/4
- ・ソフト事業:市町村負担額の1/2
- ・まちづくり基本構想・基本計画・立地適正化計画:市町村負担額の1/2
- ・県有資産の貸付・譲渡:現行の減額基準を20%かさあげ

まちづくりの類型を分類し、共通の手法を検討します。

「手法別」での分類

- ・「駅」6地区 ・「駅前」17地区 ・「参道」5地区
- ・「城跡・古墳・伝統的まちなみ等」15地区 ・「庁舎等公共施設」15地区
- ・「公園」10地区 ・「病院」4地区 ・「インターチェンジ」1地区
- ・「空き家」9地区 ・「農業」7地区

もっと良くするために

新しいまちづくり対象を検討し、市町村とのまちづくり連携協定の対象に追加していきます。

- ・葛城市と(仮称)「南阪奈道路 葛城インターチェンジ周辺地区」を対象に、包括協定の締結に向けて協議。

新しい類型のまちづくりを検討します。
(駅施設活用、未利用公有地・公有施設活用)

- ・御所市の「御所中心市街地地区」において、近鉄御所駅、JR御所駅周辺のまちづくりについて検討。

まちづくりの類型(例)



手法:駅前
天理市 天理駅周辺地区



手法:参道
桜井市 大神社参道周辺地区



手法:庁舎
五條市 五條中心市街地地区



手法:公園
広陵町 竹取公園周辺地区

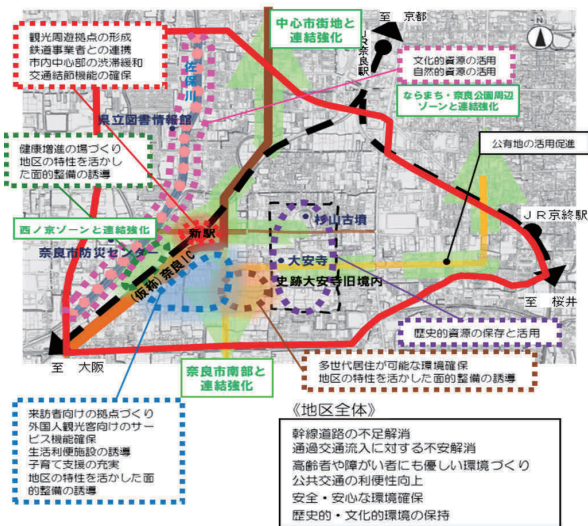
令和3年度予算案 157百万円

(126) JR新駅周辺のまちづくり

これまでは

JR新駅周辺(八条・大安寺周辺地区)の整備構想の検討を行っています。

まちづくり基本構想図
(奈良市とのまちづくり連携協定)



もっと良くするために

○AIタウン特別検討会を開催し、コンセプト及び提供する具体的な都市サービスについて検討します。

○令和3年度にまちづくり基本計画を策定し、令和4年度にAIタウン事業計画を策定します。

〈都市サービスの例〉

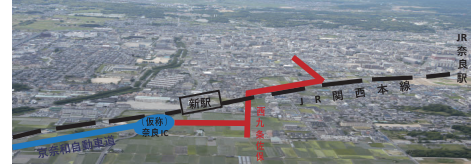
<p>観光 × 商業施設 × 観光施設 × 商業データ × パーソナルデータ</p> <p>= 一人一人に最適なおもてなしを提供するまち</p> <p>市民や来街者に対する魅力や快適性を高めた観光まちづくり</p>	<p>防犯 × 公共施設 × 人流データ</p> <p>= 安全で安心できるまち</p> <p>犯罪抑止効果に加え、高齢者の徘徊にも対応した安全、安心できるまちづくり</p>
--	--

〈出典:国土交通省 資料より作成〉

○京奈和自動車道大和北道路(仮称)奈良インターチェンジから奈良市中心市街地を結ぶ西九条佐保線、JR関西本線等を整備します。

○奈良市によるJR新駅西口駅前広場整備事業(用地買収等)への支援を行います。

現況航空写真

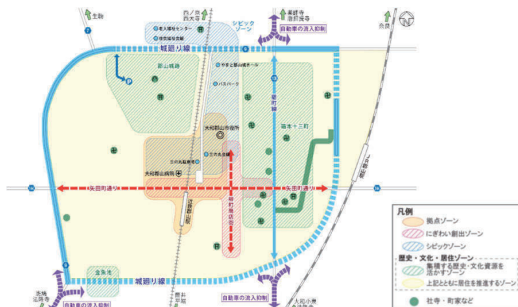


令和3年度予算案 2,748百万円 [債務負担行為 260百万円]
令和2年度2月補正予算案 872百万円

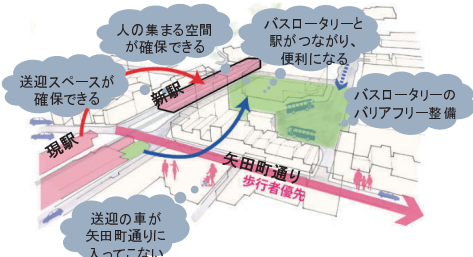
(127) 近鉄郡山駅周辺のまちづくり

これまでは

近鉄郡山駅周辺地区まちづくり基本構想図
(大和郡山市とのまちづくり連携協定)



まちづくり基本計画を策定しました。



新駅西側の交通ネットワーク検討の実施に向けて、大和郡山市と個別協定の締結を進めています。

もっと良くするために

必要検討事項

鉄道事業者と、概略設計、事業費算出の調整

スケジュール案

令和3年度の県、市、近鉄3者協定締結、令和4年度に近鉄郡山駅舎移設の事業化を目指します。

- 近鉄郡山駅の移設に係る検討についての補助 (8百万円)
- 近鉄郡山駅周辺の道路予備設計 (6百万円)



令和3年度予算案 14百万円

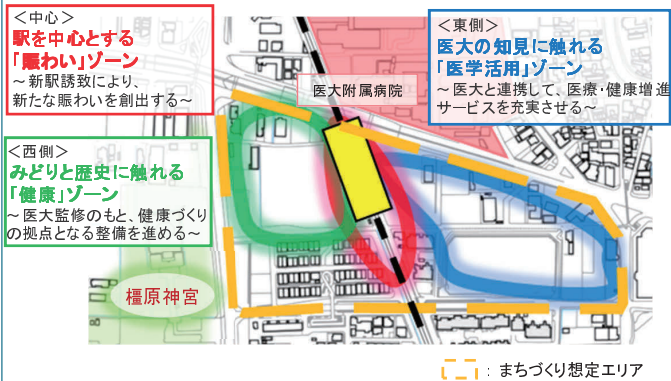
(128) 県立医科大学周辺のまちづくり

これまでは

医大附属病院周辺に新駅を誘致し、「医大隣接の利点を活かした新駅設置による賑わいのある健康増進のまち」を目指し、橿原市と協働して基本構想の作成を進めています。

新駅設置のための近鉄側の条件は八木西口駅移設であるため、令和2年度中に八木西口駅存廃の方針決定が行えるよう協議・調整を加速します。

県立医科大学周辺のまちづくり構想

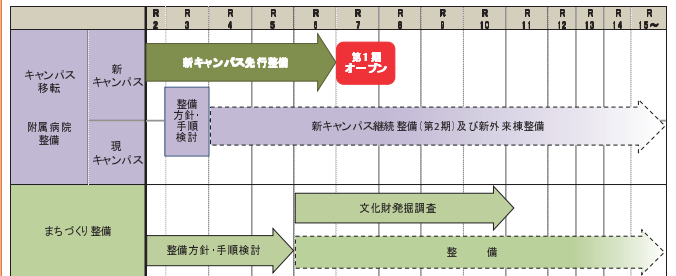


もっと良くするために

病院の南側地区の整備方針の検討を進めています。



整備スケジュール案



令和3年度予算案 1,981百万円

(129) 大和平野中央プロジェクトの推進

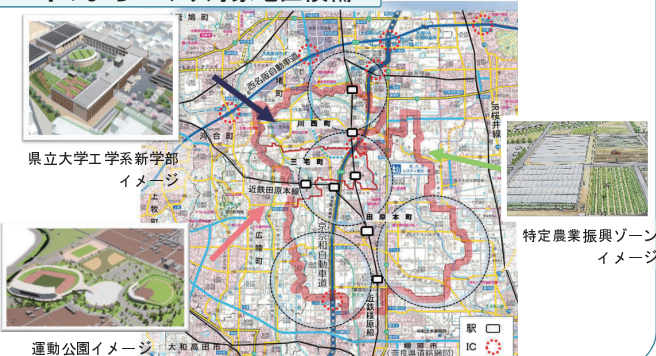
これまでは

大和平野中央プロジェクトの推進について、川西町、三宅町、田原本町と覚書を締結し、「新たなスポーツ拠点施設を核としたまちづくり」「県立大学工学系新学部を核としたまちづくり」「特定農業振興ゾーンを核としたまちづくり」プロジェクトへの参加を呼びかけました。

3町ともプロジェクト参加を表明しました。

3町と協議を開始。まちづくりの構想を検討中です。

3町のまちづくり対象地区候補



もっと良くするために

まちづくりの手順として、

- ① まずテーマを選ぶこと
- ② テーマに沿ったまちづくり構想と機能案を確立すること
- ③ 土地取得の目処をつけること
- ④ お互いの地区・近隣の地区との有効な関連を見出すことがあげられます。

●まちづくりのテーマ

- ・健康増進のまち
- ・スタートアップのまち
- ・食と農が振興できるまち

事業がテンポ良く進むためのスケジュールを確立。令和3年度中に事業の実現可能性を見極め、候補地の絞り込みを行います。

令和3年度予算案 60百万円 [債務負担行為 13百万円]